



Metro  
Edmonton  
Japanese  
Community  
School

## コミュニティースクールニュース 2010年10月号

THE ASSOCIATION OF METRO EDMONTON JAPANESE COMMUNITY SCHOOL

代表者 守田幸男(会長) 9443 Ottewell Road, Edmonton AB T6B 2E1 TEL: 780-466-3278

借用校舎 RICHARD SECORD SCHOOL 4025-117 St

URL: <http://www.ualberta.ca/~tkin/MEJCS-index.htm>

### <校長からのメッセージ>

いよいよ11月になります。ということは、エドモントン補習校最大といつていい行事「学芸会」がやってきます。生徒の皆さんは、それぞれの担任の先生と力を合わせて学芸会の練習をがんばってください。そして学年代表の方、保護者の方、役員の方、いろいろ準備で忙しくなることと思います。皆さんご協力よろしくお願いたします。そしてそれぞれ力を合わせて頑張りましょう。

日本では、いわゆる「ゆとり教育」の脱却が始まっています。(一部前倒しで2009年から行われている。完全移行は正式には2011年もしくは2012年)このゆとり教育に関しては教育に携わるものとして、いろいろ討論のよい材料となるのですが、ここでは少し学芸会と絡めてお話をさせていただきます。私を含め、多くの保護者の方々が子どもころは、学芸会はどこにでも普通にあるものでした。昨年のニュースレターでも述べたように学芸会は、学芸的学校行事とされており、そしてその目標は、小学校、中学校ともに「平素の学習活動の成果を総合的に生かし、その向上の意欲を一層高めるような活動を行うこと。」となっております。この学習要領は昔から今までずっと変わっておらず、学芸会を含めた特別活動は正規の教育活動となっています。にもかかわらず、日本では学芸会を縮小したり、もしくは学芸会自体をなくす小学校、文化祭をなくす中学校が多くなっています。(学習発表会として学芸会を残している小学校も多々ありますが)なぜでしょう。それは、脱ゆとり教育の指導要領の中にその答えが見て取れます。2011年度からは今までと比べて小学校6年間では278時間(1時間は45分)もの学習時間の増加が予定されています。(1学年当たり46時間の増加) この278時間という多さは、そのままゆとり教育の実施前(この場合1992年)に比べそれだけ授業時間が減っていたということです。大学受験、高校受験もしくは中学受験の厳しさは昔も今もほとんど変わっていませんので(これが決定的にゆとり教育がうまく機能できなかったと思っています)それに見合うエクストラとしての授業を補充するためにやむを得ず特別活動の縮小が行われてきたケースも考えられます。ゆとり教育自体がそういった特別活動などの充実を通して経験重視の教育を目指したはずであったことを考えれば大変皮肉なことではあります。。。エドモントン補習校は、一貫して授業数を減らすことなくそして「平素の学習活動である」国語の成果をもしくは国語教育の違う形での発展として、「その向上の意欲を一層高める様な活動」すなわち学芸会を行ってまいりました。たまたま日本ではもう学芸会をしなくなったのに、する必要があるのでかという様な質問がありますが、以上のことを考えていただければおのずと答えは出ると思います。これ

は、毎年言っているのですが、学芸会の終わったあとでは、「クラスがしっかりとまとまった」「子供たちが自信を持って課題に取り組むようになった」ということが顕著に見られるようになります。この補習校に来ている子どもたちにとって週に一回の授業では、この補習校に「所属している」という感覚を得ることが難しいでしょう。補習校に来ている子どもたちは、日本語ができて常にも「英語のほうが上手だ」という意識があるので日本語に自信が持てないでいるかもしれません。そういう子どもたちが、目標に向かって自分の家族を巻き込んでクラス一体、学校一体となって日本語の劇の練習をし、それを(子どもたちにとって)大観衆に発表すること、これが彼ら、彼女らにとって大きな経験、財産にならないわけがありません。毎年学芸会を経て学力的にも、精神的にも大きく伸びがみられるこの行事をみなさんで大切に盛り上げていってほしいと心から願っています。

さて、10月の最終週には、各学年とも『作品集』が出揃います。皆さん手に取られて、雪が舞う今ではずっと前に思える夏の思い出されてください。学年の終わりには、補習校全体での作品集を発行しますが、そのときにこの夏の作品集と読み比べてどれだけ成長したかの参考になるかもしれませんね。

最後に、またのお願いですが、学校の使用に関してです。11月は、ジムを学芸会の練習に使用しますうえに寒くなりますので外遊びもありません。それでも校内を走らない、学校のものには触らないなど規則はしっかり守ってください。

学芸会の練習もさることながら普段の日本語の勉強も頑張りつつ、充実した11月にいたしましょう。

校長 坂口 宗

### <保護者便り>

皆さん、こんにちは。 マンゼイ美香です。我が家には、中3、小6、小2の3人の子供がいるのですが、補習校にお世話になっているのは、末娘の葉菜(かな)1人です。

私たちは4年前、日本から来ました。小学5年生だった長男は、5年生レベルの完璧な日本語でした。(英語の方はかなり問題ありでした。)小さい頃から読書が好きで、ハリーポッター等の本も、4年生頃から読んでいました。それが4年経った今、日本語での読書はマンガのみ、、、。

私との会話は、100%日本語なのですが、最近、何を言いたいのか、理解できない事が、増えてきました。残念ながら、どんどん、日本語を忘れていくようです。先日、葉菜が2年生の漢字勉強をしていたので、長男、

長女にも、同じ漢字テストをさせた所、一番出来たのが葉菜でした。

「子供は覚えるのも早いけど、忘れるのも早い」とよく言いますが、まさにその通りです。

改めて補習校の大切さを実感しました。

毎週金曜日、午後5時45分～8時45分の勉強は、低学年にとってかなり大変ですが、親の私たちも出来る限りのサポートをして、大人になった時、正しくきれいな日本語で話せるようになってほしいと願っています。

マンゼイ 美香

こんにちは、山本奈穂子と申します。補習校には長女の愛奈(小2)を通わせ始めて5年が過ぎました。

長女は仲良しのお友達と一緒に遊んだり、図書で大好きなマンガを借りられるのがとても楽しいようで、毎週楽しそうに通っています。

日本人として日本で生まれ育った私にはカナダで育つ娘達と共感できる子供時代の思い出がありません。が、長女を日本の小学校へ行かせてみて、(しかも私の母校!)、学校ってこんな事があるよね、とか給食ってこんなのだよね等、彼女の記憶に刷り込まれるであろう思い出を共有/共感することが出来ています。日本で小学校に無理なく通えるのも、補習校で習った日本語の基礎があったからこそです。

補習校は、学業だけでなく私と娘達との日本的な感覚を繋ぐ大切な場所となっています。

これからもよろしく願います。

山本 奈穂子

#### <10月4, 5日カジノファンドレイジング>

先日行われた、日本語学校の最大の収入源とも言えるカジノのボランティアですが、皆様のご協力によりましてとてもスムーズに進み、2日間とも無事に終了しました。全てのボランティアに当たった父兄の方々、そして、控えとして自宅待機していただいた父兄の方々、本当にお疲れ様でした。今回は、始めての方も多く、少し緊張されていた方も見られましたが、やってみれば、こんなものか!と思われたのではないのでしょうか?ジェネラルマネージャーの4人の方々、まとめ役ありがとうございました。

私(ジャクソン)は、5日の夜は現地におりませんでしたので、今回の2日間の収益等は報告いたしていませんが、昨年同様約80,000ドル、を期待していますが、連絡があり次第、役員の方より、報告があると思いますので、お待ちください。

コーディネーター2人、あまり手順が分からず、いろんな面で皆様にご迷惑をおかけしたと思っています。すみませんでした。そんな私たちをいつも支えてくれたのは守田さんの奥様、Gerryさんです。彼女がカジノサイドのコーディネーターであるDonさんといつも連絡を取ってくださり、我が校のボランティアを成功させてくれました。多忙の中、多大なる協力、本当に感謝いたします。

次回はまた2年後くらいに行われます。その際はまた皆様のご協力をお願いいたします。ありがとうございました。なお、カジノ団体より、ボランティアのお礼として腕時計をいただきました。先週、スタッフルームにて抽選した結果、松尾真知子さんに当たりました。おめでとうございます。

コーディネーター役、朝居・ジャクソン

#### <ボランティア募集>

会則と校則の整理、ストラテジックプランニング、奨学金コミTEEに協力してくださるボランティアの方を募集しています。詳細は後日発表します。興味のある方はブルースさんまでお知らせください。

[bruce@interbaun.com](mailto:bruce@interbaun.com)

#### <図書からのお知らせ>

マンゼイさんから漫画をたくさん御寄付いただきました。ありがとうございました。

#### <11月と12月の当番

/Parent Duty shifts Oct/Nov>

11月5日 阿部(Brechin)、吉田  
12日 王、阿部  
19日 フェドロウ、フロメント  
26日 ヒューストン、シンクレア

12月3日 安田、田中  
10日 ソイヤー、飯田  
17日 大場、茲田

#### <ニュースレターについて>

ニュースレターへの記事の掲載をご希望の方は、担当の山本 (naoko2158@shaw.ca) までご連絡下さい。投稿の締切りは第3金曜日、発行は第4週です。

スクールニュース校正 アデイソン千恵子  
編集 山本 奈穂子

